

第6章 目標指標の設定

6-1 ロジックモデルによる目標指標の設定

ロジックモデルとは、施策がその目的を達成するまでの論理的な因果関係を明示したもので、目指す姿の実現に向けた道筋を体系的に図化したものです。

本計画では、各基本目標の中で重点的・戦略的に取り組む施策を重点施策としてロジックモデルを作成し、タイミング良く複数の取組を連動して機能させていきます。

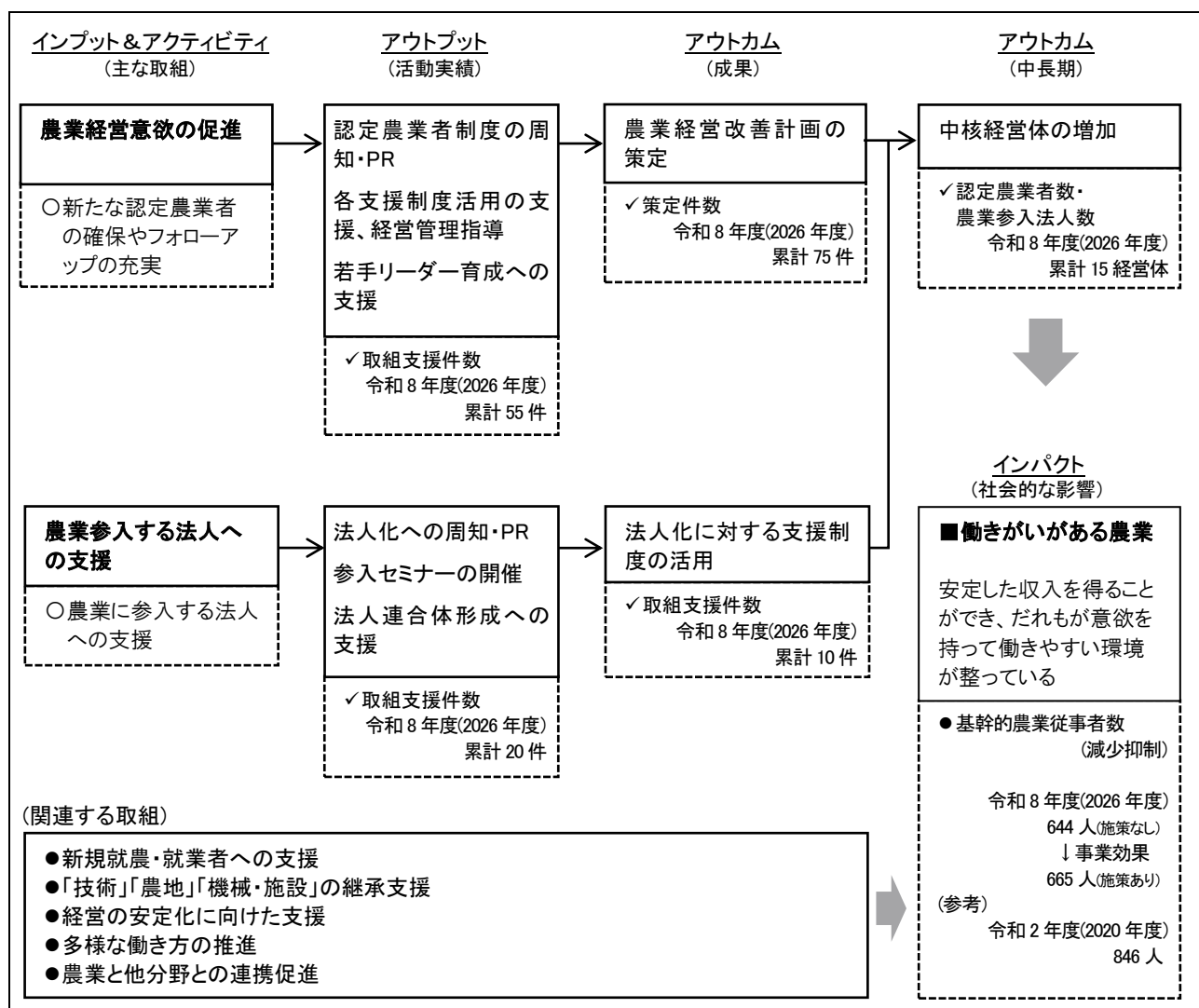
また、このロジックモデルでは、取組の進捗確認や有効性の検証が行えるよう各段階において目標指標を設定します。

(1) 農業

【施策1-2:生産者・経営者のマインドの転換】ロジックモデルシート

解決すべき 問題・課題	<p>農業者の高齢化が進む中、今後の農業経営について、「現状維持」を望む農業者が多くなっています。一方で、30歳代から50歳代の比較的若い農業者は、省力化に向けた新たな取組や経営向上に意欲があります。</p> <p>そのため、生産者や経営者のやる気や意欲を高めるための取組を積極的に実施するとともに、経営意欲をもって継続的に取り組める環境づくりが必要です。</p>
------------------------	--

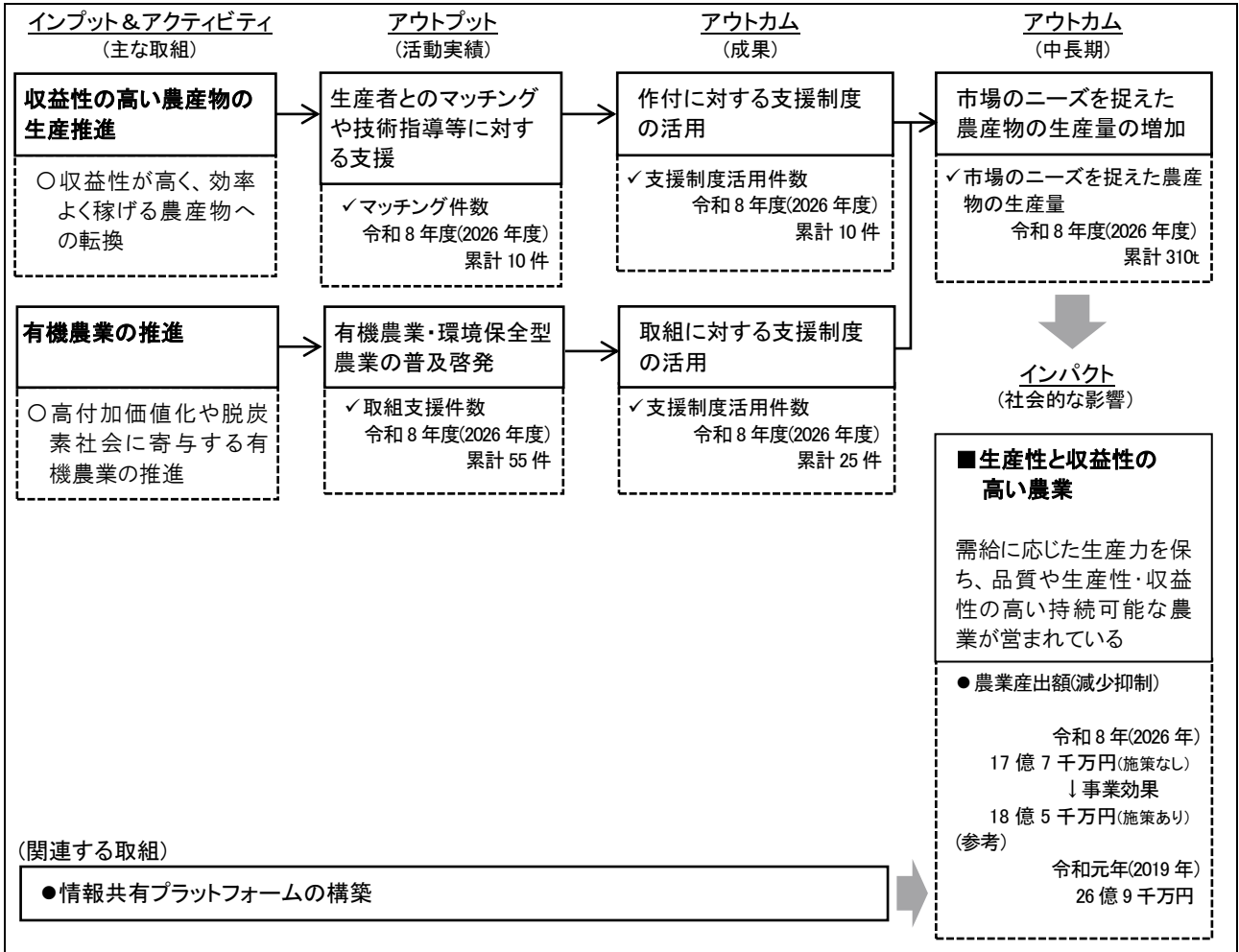
上記問題・課題 と事業との関係	<p>生産者・経営者のマインドの転換・経営の安定化を図るため、中核経営体である認定農業者や法人化に向けての誘導・フォローアップを行うとともに、所得向上・規模拡大を図る意欲ある農業者を支援することで、持続可能な農業を目指します。</p>
----------------------------	---



【施策 2-2: 収益性の高い農産物への転換】 ロジックモデルシート

解決すべき問題・課題	本市の農業は、水稻が中心となっていますが、米の単価は市場の動向や気候に左右され、不安定な状況にあります。 また、本市はお茶の生産が特徴的になっていますが、その他の特徴的な農産物は少ない状況です。そのため、収益性の高い農産物への転換や有機農業の推進、また、個性ある農産物づくりの推進が必要です。
-------------------	---

上記問題・課題と事業との関係	効率よく稼げる農産物の生産を推進するとともに、有機農業の取組をさらに進めていくことで、収益性の高い農産物への転換を図ります。
-----------------------	--



【施策 2-3:生産力の安定化と強化】 ロジックモデルシート

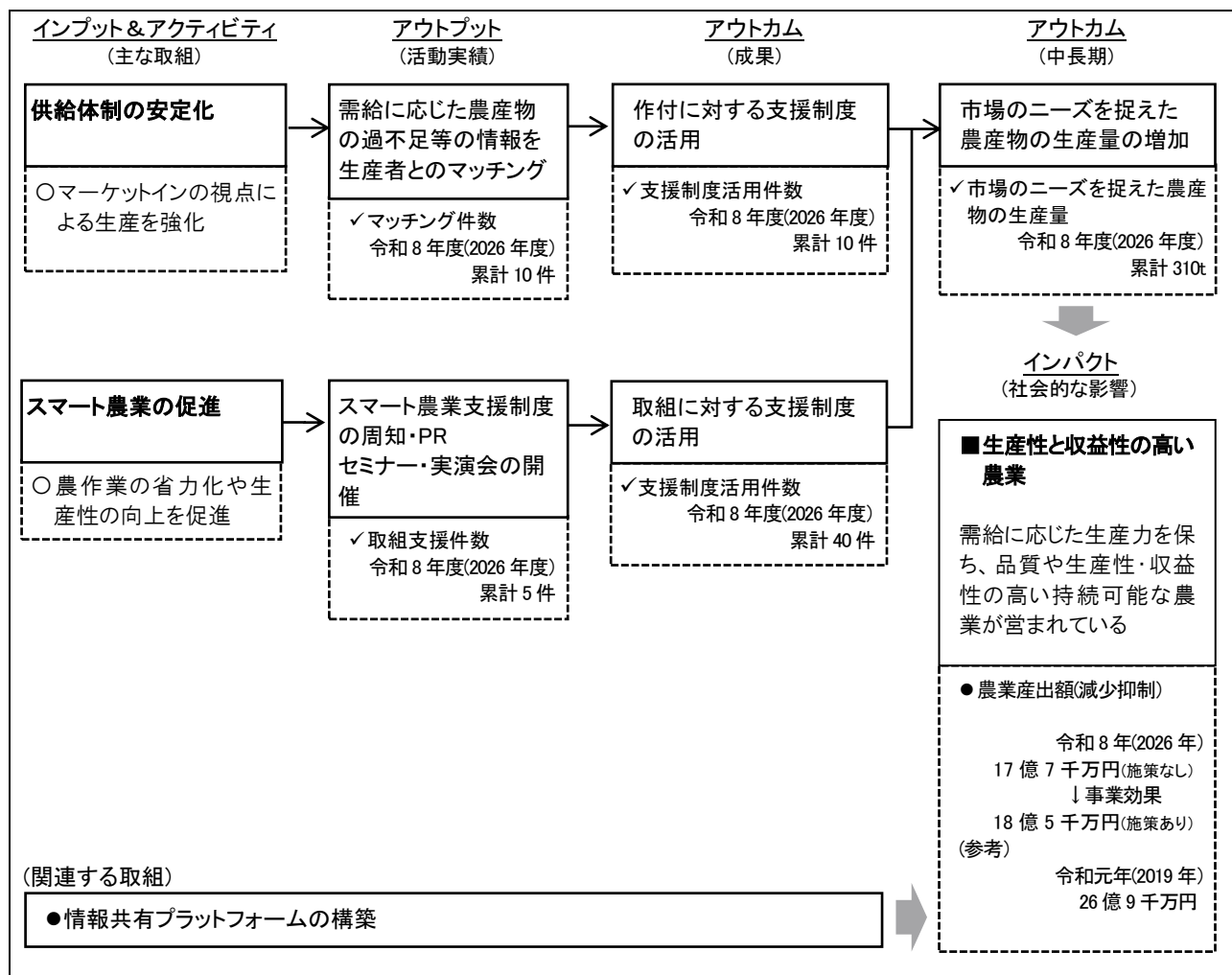
第1章

解決すべき問題・課題	農業者の減少や高齢化、それに伴う農地の減少により、農産物の産出額は減少傾向にあります。また、需給に応じた農産物の過不足等の情報が共有されていないことから、安定した供給体制が整っていない現状があります。 そのため、需給バランスに応じた生産を推進するとともに、生産性や品質を高める効率的なスマート農業を促進していく必要があります。
-------------------	--

第2章

上記問題・課題と事業との関係	供給体制の安定化を進めるとともに、人手不足の中で効率性を上げ、生産力を強化するためのスマート農業を促進します。
-----------------------	---

第3章



第4章

第5章

第6章

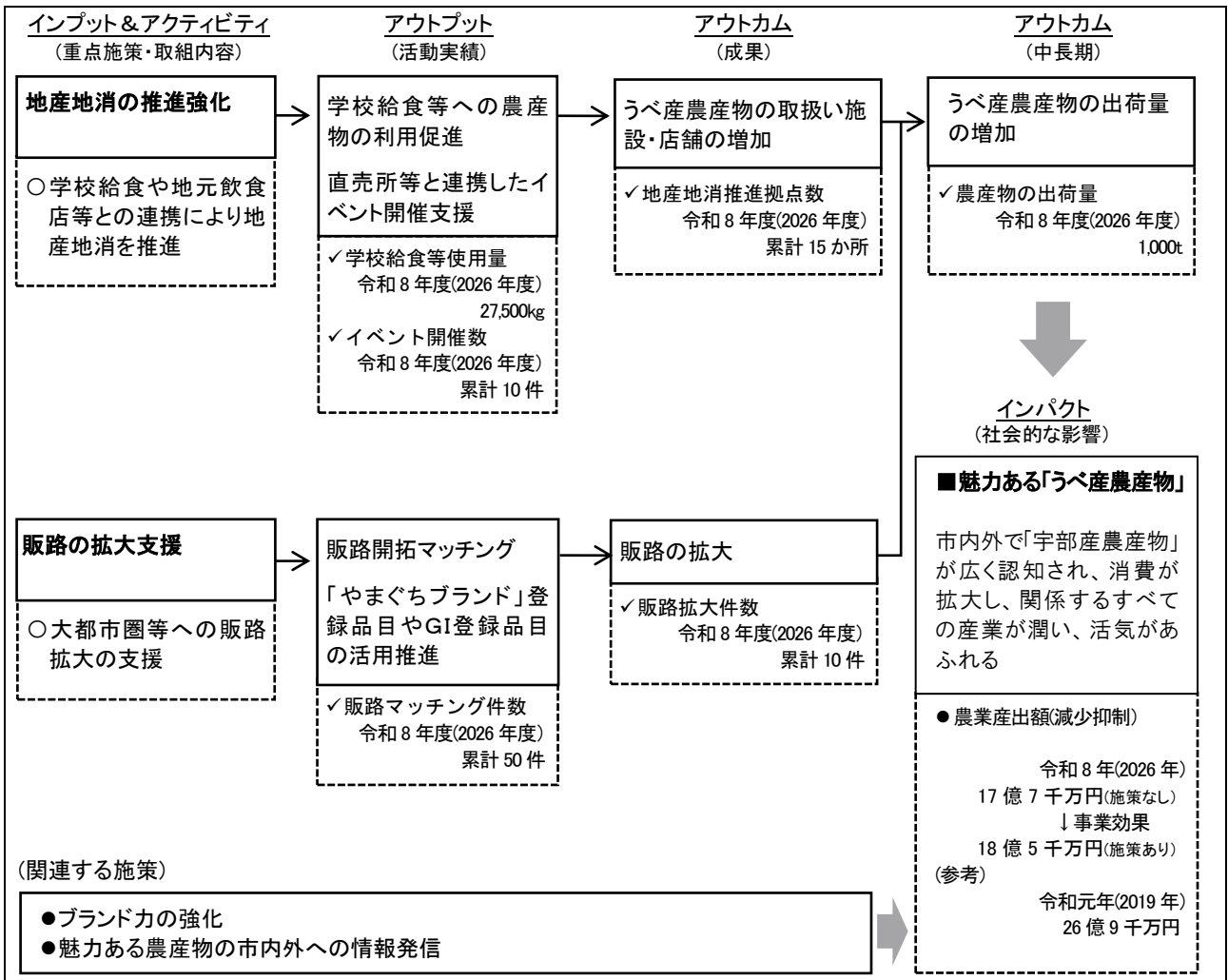
第7章

資料編

【施策3-1:農産物の魅力向上による販路拡大】 ロジックモデルシート

解決すべき問題・課題	米以外の食品については、宇部市民の農産物の需要に対して、市内で生産される供給量が少なく、需要と供給のギャップが生じています。また、生産者から、所得向上を図るため売り方の工夫や販路の拡大が必要といった声が挙がっています。 このため、市内での直売機会の増加等による地産地消の推進や市場性の高い新たな販路拡大が必要となっています。
------------	---

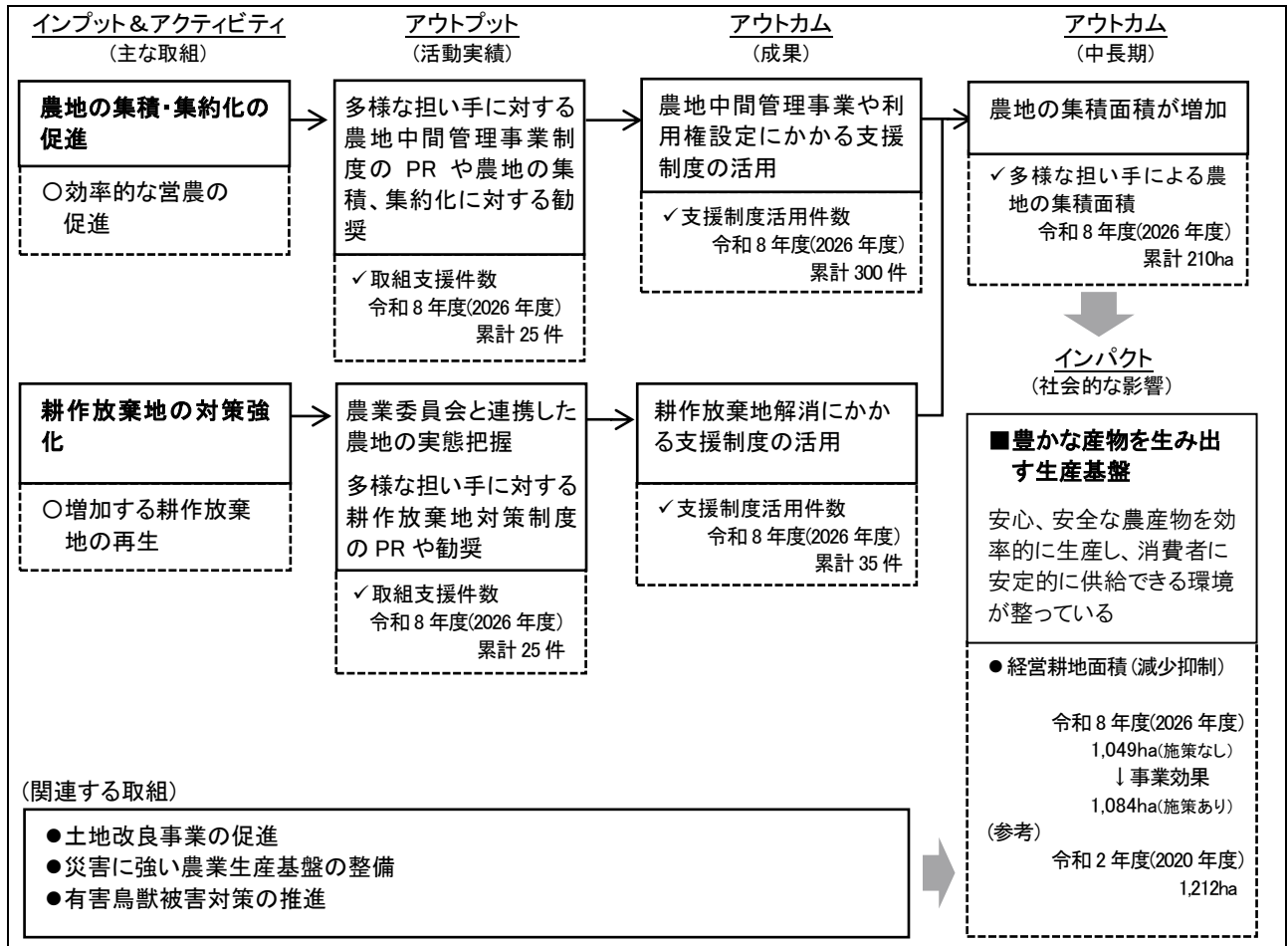
上記問題・課題と事業との関係	学校給食や飲食店等との連携による地産地消を推進し、市内流通の拡大を進め、情報発信を図るとともに大都市圏等への販路拡大の支援を行い、農産物の販路拡大を図ります。
----------------	---



【施策 4-2: 農業環境の保全と活用促進】 ロジックモデルシート

解決すべき問題・課題	農業者の減少により、経営耕地面積が年々減少しており、本市の耕作放棄地率は、全国平均と比べて非常に高くなっています。 そのため、生産力の強化や効率的な営農につなげるため、農地の集積・集約化や耕作放棄地の解消が必要です。
-------------------	---

上記問題・課題と事業との関係	耕作放棄地対策を強化するとともに、新たな担い手や意欲ある農業者が経営規模を拡大できるような環境を整え、効率的な営農を促進することで、農地の集積・集約化を図ります。
-----------------------	---

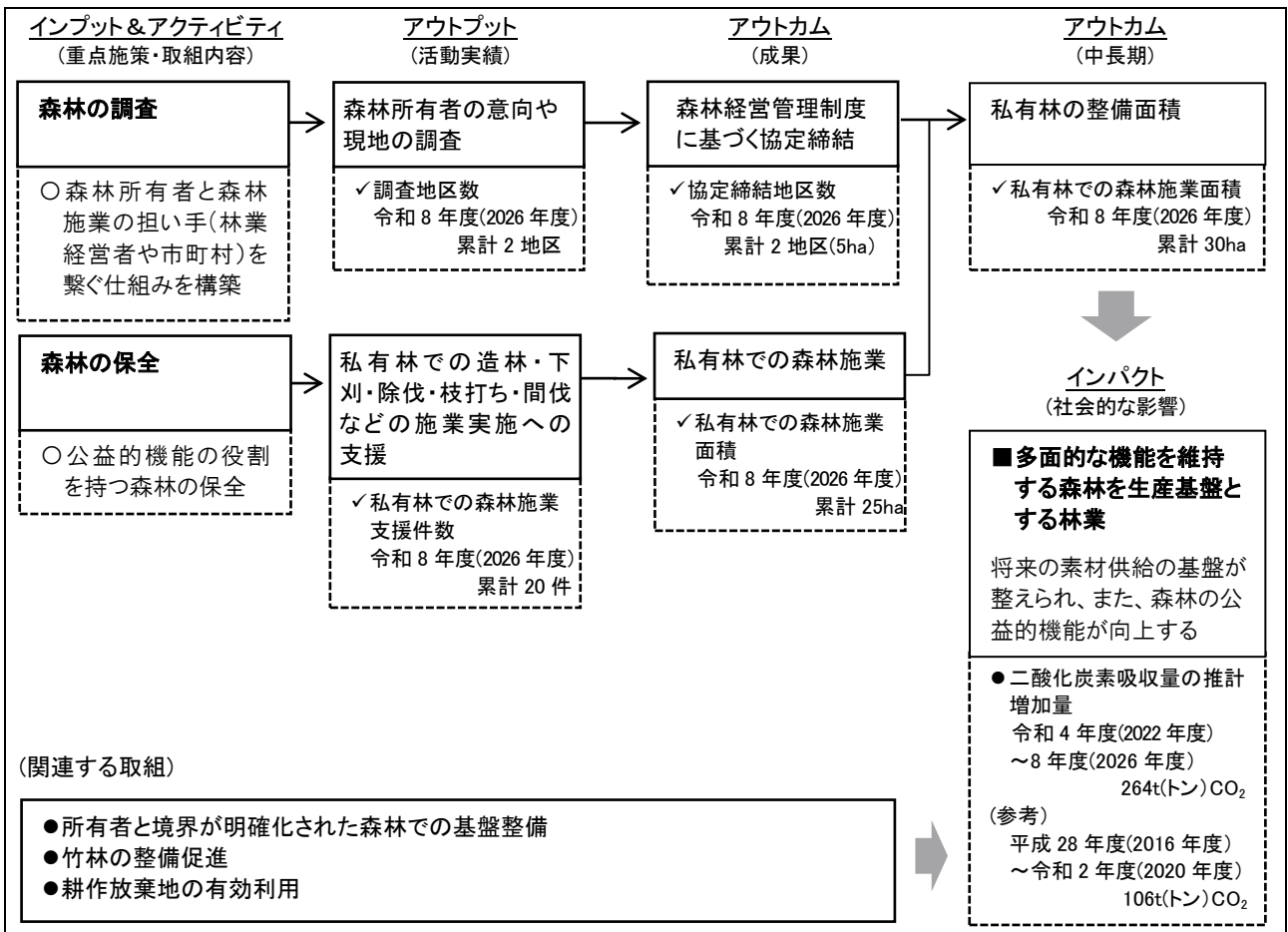


(2) 林業

【施策 4-2: 森林環境の保全】 ロジックモデルシート

解決すべき問題・課題	本市では、境界や所有者が不明な山林が依然として多く、森林整備の担い手の高齢化が進んでおり、管理が放棄され、荒廃した山林が多くなっています。 そのため、二酸化炭素吸収や災害防止、国土保全、水源涵養等の森林がもつ様々な公益的機能が十分に発揮できていない状況となっていることから、それらへの対応が必要です。
-------------------	---

上記問題・課題と事業との関係	地籍調査が完了し所有に関する情報が明確になっている山林において、山林所有者の森林整備に関する意向を調査し、これらの森林整備を市などが委託を受ける環境を整えます。 また、従前より森林整備に意欲がある所有者の森林や、新たに市が整備の委託を受けた森林で整備を行い、森林の公益的機能の向上を図ります。
-----------------------	---

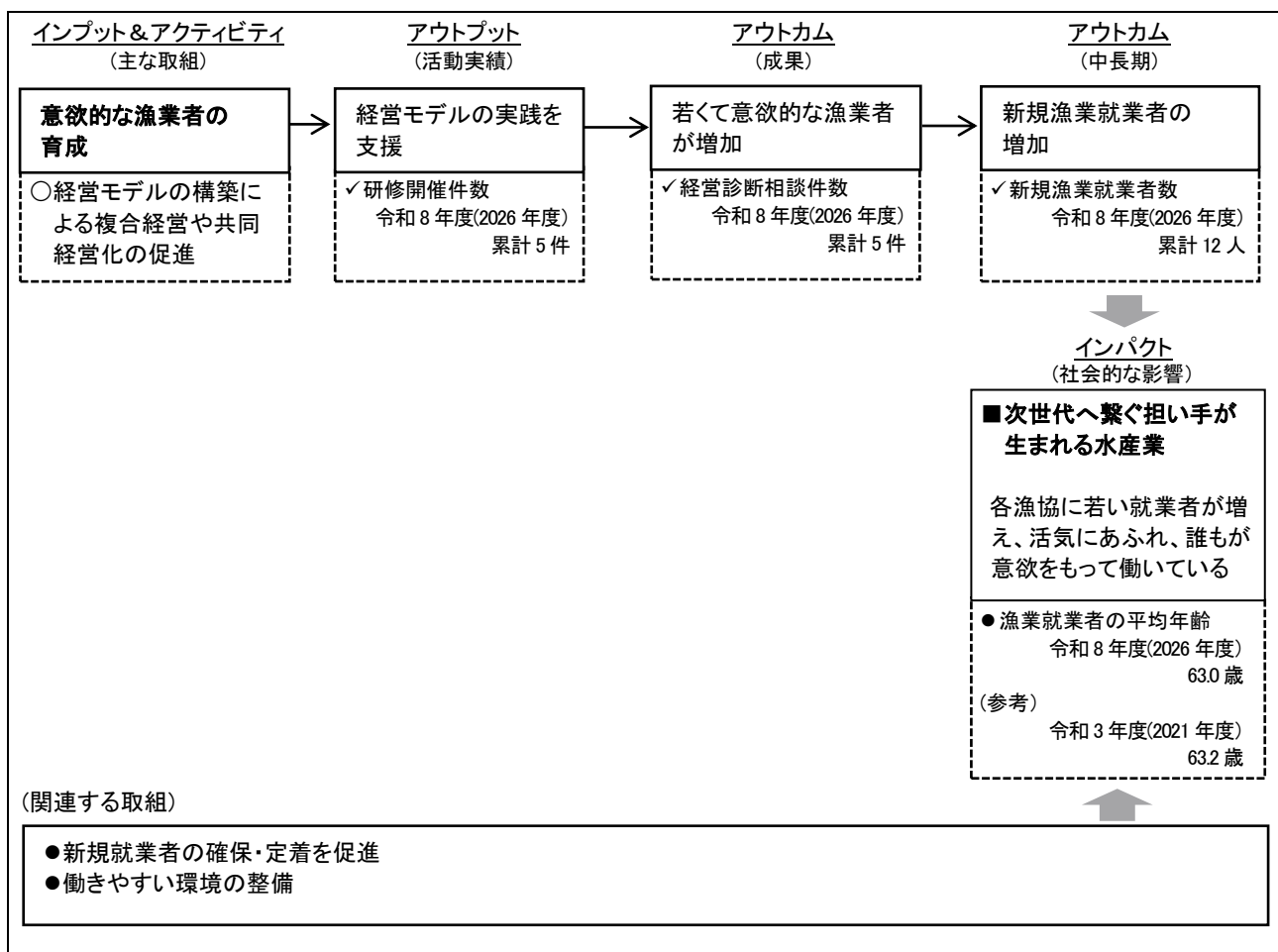


(3) 水産業

【施策 1-2: 経営基盤の強化を促進】 ロジックモデルシート

解決すべき問題・課題	アンケート調査によると、今後の経営について「拡大したい」と答えた方は 1 割程度となっています。一方、「拡大したい」と答えた方の約 7 割が 50 歳未満となっており、若い世代には所得向上に向けて意欲的な漁業者が、比較的多く存在している状況です。 これらのことから、意欲ある経営者をサポートし、経営の拡大に向けた経営基盤の強化を図ることが必要です。
-------------------	---

上記問題・課題と事業との関係	漁協や県と連携し、所得向上を目指した優良経営モデルの実践や新漁法等の取得を促進し、意欲的な漁業者の育成を図るとともに、県や水産大学校と連携した経営診断や指導を充実し、複合経営や漁業者グループによる共同経営化など、経営基盤の強化を図ります。
-----------------------	---



【施策 2-1:水産資源の持続的利用と戦略的な栽培漁業を推進】 ロジックモデルシート

解決すべき問題・課題

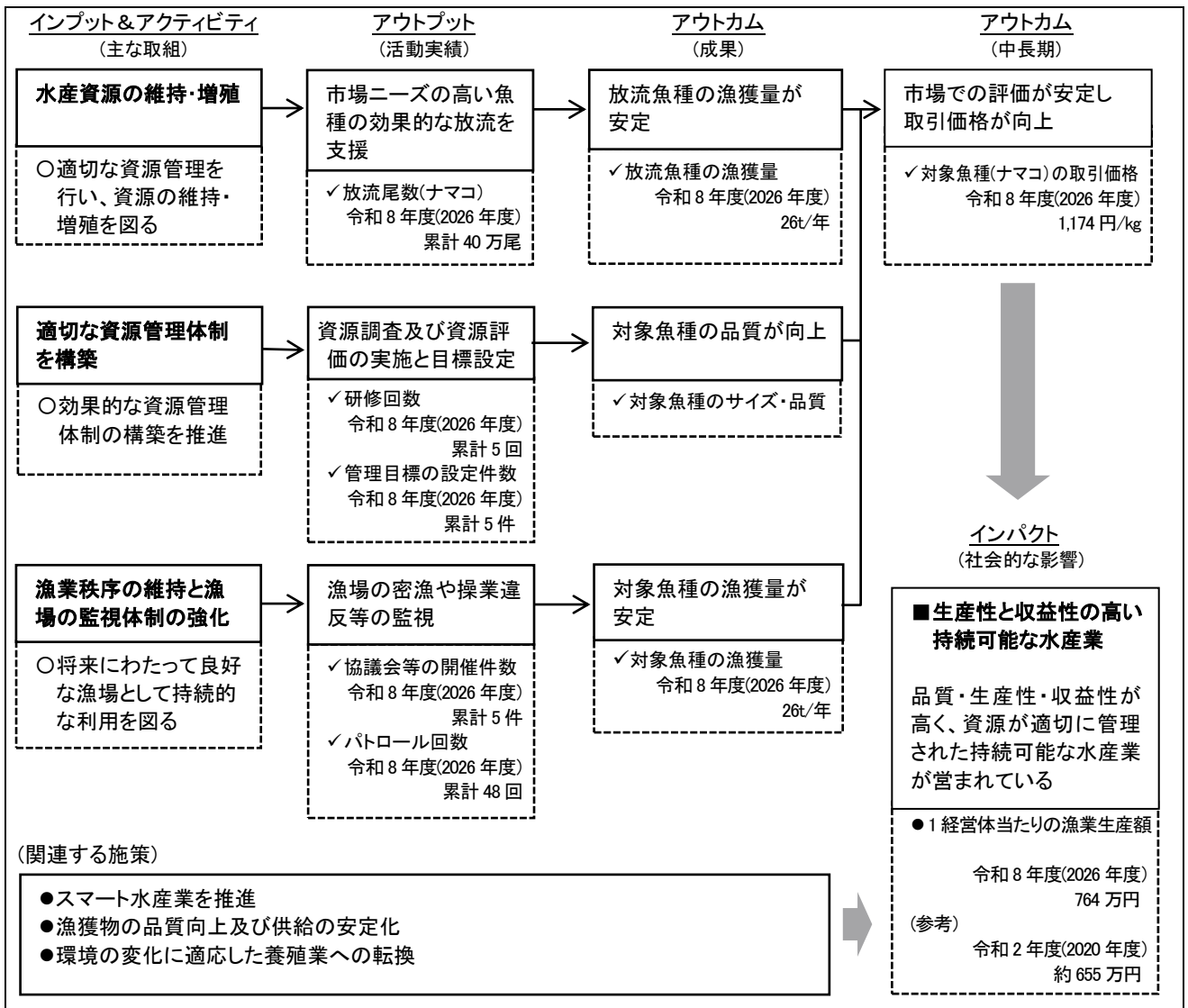
水産資源の維持・増殖と安定した漁業所得を得るため、漁協は市場価値が高い魚種の種苗放流等に取り組むとともに、漁業調整規則等の規制に加え、地域の漁業や資源の実情に応じ、漁業者間で決められたルール等に基づき資源管理に取り組んできました。

しかしながら、資源量や漁場環境の評価と検証、これに基づくルール作りや海洋環境の変化への対応などが十分に行えていないことから、漁獲量は年々減少し取引価格も低迷しています。

このため、豊かな海の再生を促進し、適切な資源管理体制を構築するとともに、漁業秩序に対する意識の向上を図りながら、将来にわたって良好な漁場を確保していく必要があります。

上記問題・課題と事業との関係

水産資源や漁場の状況を詳細に把握し、適切な評価のもと、決められた規則やルールを徹底するとともに、市場価値の高い水産資源の維持・増殖に向けた種苗放流等を効果的に行うことで、戦略的な栽培漁業を推進します。



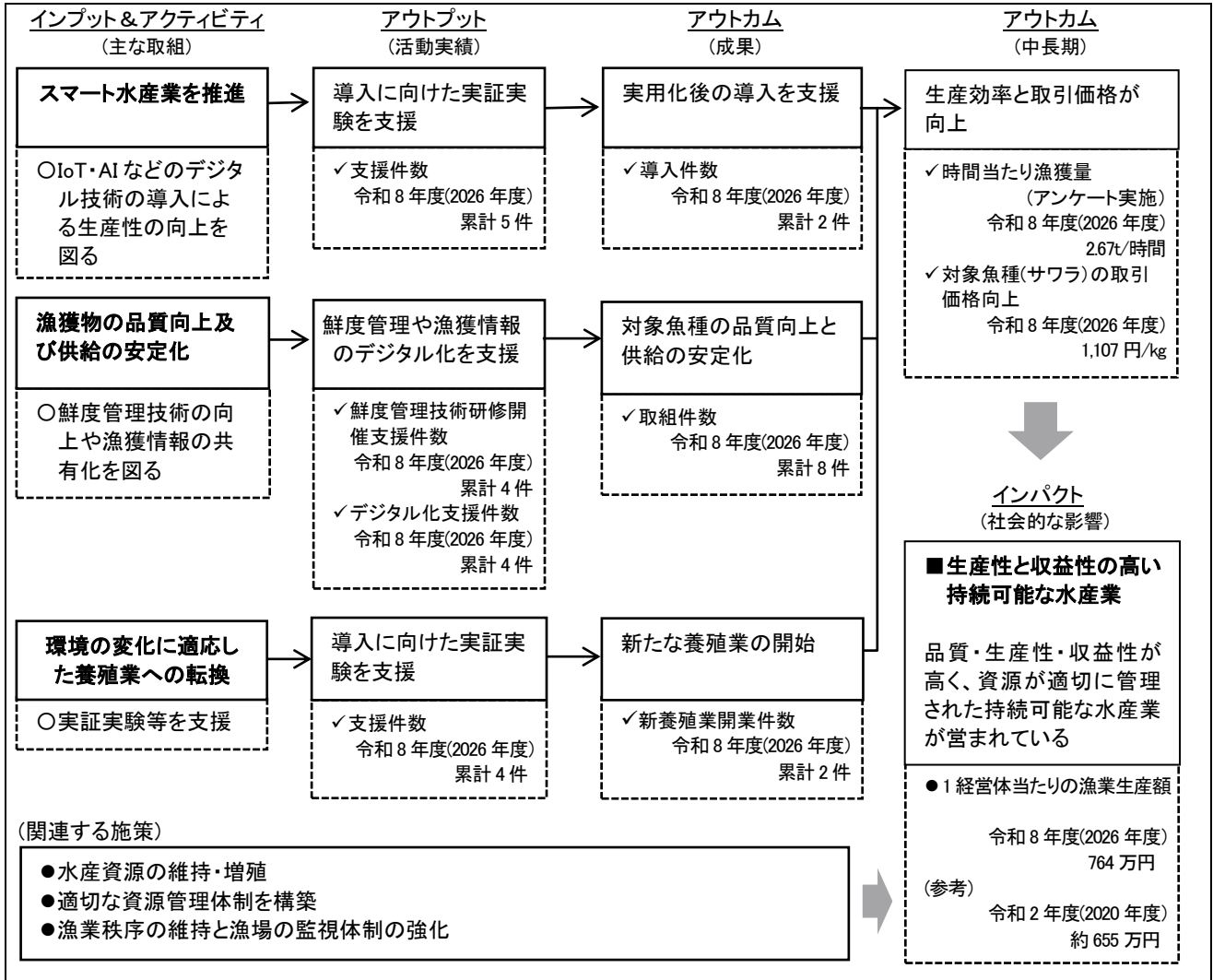
【施策 2-2:生産性・収益性の高い漁業への転換を促進】 ロジックモデルシート

解決すべき
問題・課題

漁獲物の鮮度管理・品質管理が十分にいき届いていないことに加え、漁獲情報の共有や市場への安定的な供給も不十分な状況であることから、消費者ニーズを捉えきれず、市場での取引価格が低迷しています。
また、海洋環境の変化等が、養殖海苔の生育や品質に影響し、生産量・生産者ともに減少しています。このため、漁獲物の鮮度管理技術の向上や市場への安定供給など、市場ニーズに対応するとともに、環境の変化にも適応した漁業へ転換していく必要があります。

上記問題・課題
と事業との関係

スマート水産業の導入による漁獲情報の共有や出荷調整など、市場への供給の安定化を促進するとともに、環境の変化に適応した養殖技術の開発や品種の選定、マーケットインの視点を重視した新たな養殖業へのチャレンジなど、生産性・収益性の高い漁業への転換を図ります。



【施策3-1:うべ産水産物の魅力創出と消費拡大】ロジックモデルシート

解決すべき問題・課題

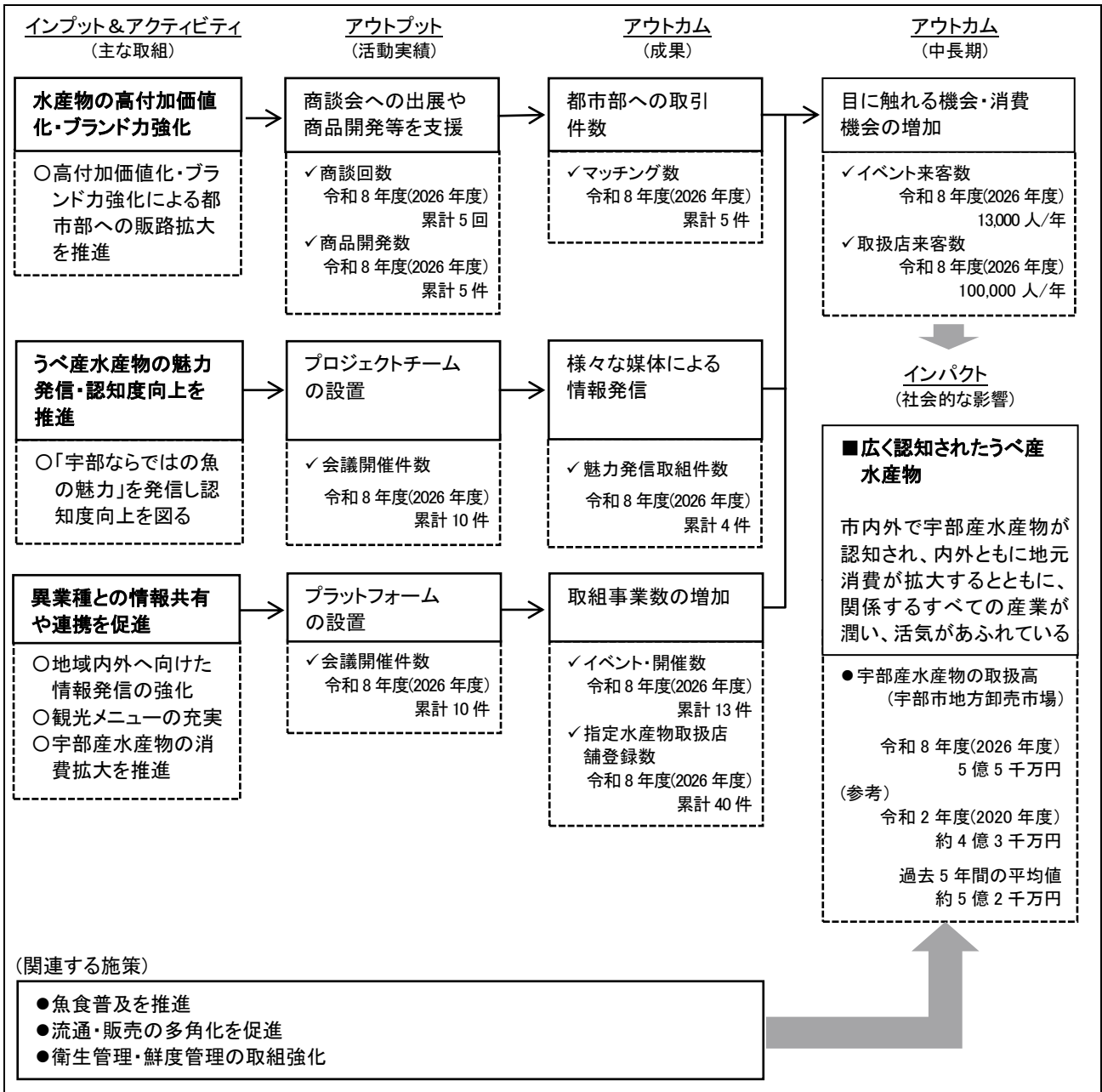
小型底びき網漁業や潜水器漁業は、本市の漁業の特徴であり、エビやカニ、ハモ、貝類などは瀬戸内沿岸都市の中でも上位に位置するなど水産物に恵まれたまちですが、ブランド力や認知度が低く、食生活の魚離れもあり、宇部産水産物の価格は低迷している状況です。

そのため、宇部産水産物の美味しさや食べ方などの魅力を広く伝え、都市部への販路拡大を推進するとともに、市内の飲食店等とも連携し、市民や宇部を訪れたビジネスマンや観光客等による地元消費(地産地消)を推進することにより、宇部産水産物の消費全体を底上げしていく必要があります。

上記問題・課題と事業との関係

異業種との連携や情報共有できる環境を構築し、宇部産水産物を活用したご当地メニューや体験型観光メニューの企画、ブランド力強化など、新たな魅力創出に取り組みます。

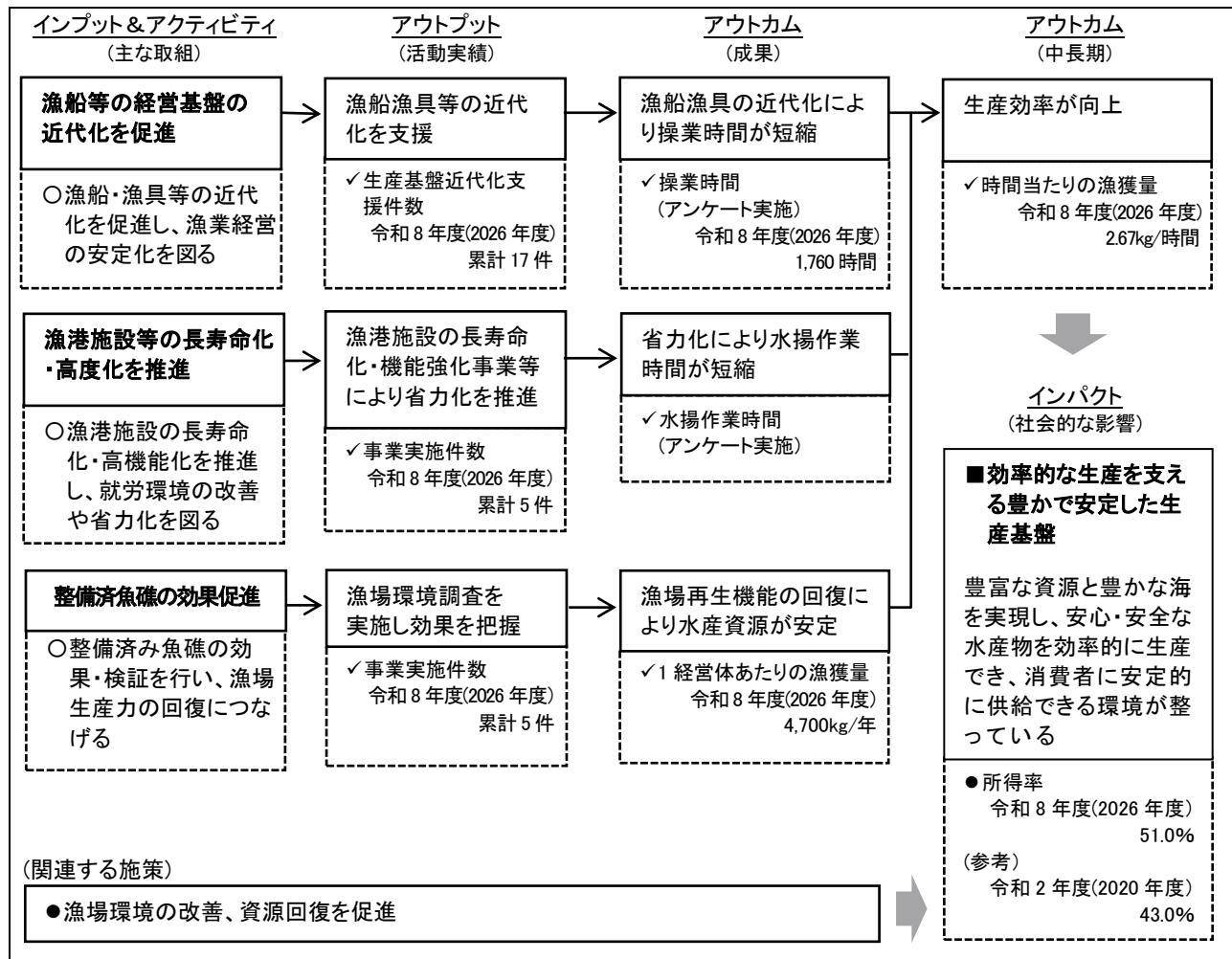
また、地域内外に宇部ならではの魚の魅力を発信し、認知度向上、都市部への販路拡大を推進するとともに、市民や宇部を訪れた多くの方に宇部産水産物を食べていただき、地元消費の拡大につながる仕組みづくりに取り組みます。



【施策 4-1:生産(経営)基盤の整備を促進】ロジックモデルシート

解決すべき問題・課題	漁港施設をはじめ、漁船・漁具等の生産基盤の老朽化が進むとともに、地球温暖化による海水温の上昇や栄養塩不足等の環境の変化により漁場の再生産機能も衰えています。 このため、効率的な生産を支えていくには、生産基盤の長寿命化や省力化施設の整備、藻場や魚礁等の漁場環境の整備が必要です。
-------------------	---

上記問題・課題と事業との関係	安心・安全で持続可能な水産業を実現するため、漁港施設や漁場環境の整備による生産基盤の機能強化に取り組み、生産性の向上や漁場機能の再生・保全を推進します。
-----------------------	--



第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

資料編